

第6章 現行計画の評価

現行計画（令和2（2020）年3月）で設定された成果指標に対して、計画期間の概ね中間（令和6（2024）年度末）時点で以下のとおり計測・評価を行いました。（表6-1）

セーフティネットに関する指標である「①高齢者や障がい者が居住する住宅の一定のバリアフリー化率」は未だに低調であり、「③最低居住面積水準未満率」については目標を下回る結果でした。今後、増加が見込まれる高齢者等に対応できるような住宅の供給促進に努めます。

良質な住宅の供給に関する指標である「⑥新築住宅における認定長期優良住宅の割合」や「⑦持ち家のリフォームの実施率」では、目標へ近づいていますが安全で質の高い住宅ストックを次世代へ継承していくためにも、更なる住宅の質向上への取組を推進してまいります。

「⑧住宅・住環境に対する満足度」や「⑩街並み・景観の満足度」では、目標をすでに達成していることから、住環境全般についての不満は少ないことがわかります。引き続き、市民の満足度上昇へ取り組みます。

表6-1 成果指標の計測・評価結果

指 標	計測値 (策定時)	現状値	数値目標	評 価
高齢者・障がい者を配慮した生活環境の整備	①高齢者や障がい者が居住する住宅の一定のバリアフリー化率	45.8% (H30)	53.6% (R5)	75% (R12) △
魅力ある子育て環境の整備	②子育て世帯における誘導居住面積水準達成率	40.5% (H30)	41.5% (R5)	50% (R12) △
セーフティネットの構築	③最低居住面積水準未満率	5.5% (H30)	7.6% (R5)	早期に解消 ×
災害時の住宅供給	④目標年度における被災建築物応急危険度判定士の70歳未満の登録者数	98人 (R1)	75人 (R7)	増加を目指す ×
ストックの活用	⑤既存住宅の流通戸数の割合	10.2% (H30)	13.2% (R5)	増加を目指す ○
良質な住宅の供給	⑥新築住宅における認定長期優良住宅の割合	24.1% (H30)	29.6% (R6)	30.0% (R12) △
	⑦持ち家のリフォームの実施率	25.3% (H30)	28.7% (R5)	30.0% (R12) △
地域特性の活用 ニーズへの対応	⑧住宅・住環境に対する満足度	66.5% (H30)	73.7% (R6)	70.0% (R12) ○
安全・安心な住宅と住環境の確保	⑨新耐震基準が求め る耐震性を有する住 宅ストックの比率	85.4% (H25)	90.0% (R5)	95.0% (R12) △
美しい住環境の形成	⑩街並み・景観の満足度	72.9% (H30)	77.9% (R6)	増加を目指す ○

注) ①、②、③、⑤、⑦はいずれも令和5年住宅・土地統計調査、

④は県調査資料、⑥は市調査資料、⑧、⑩市民アンケート調査、⑨市耐震改修促進計画

評価：○=目標達成、△=目標達成に前進、×=目標達成に後退